

C B D C（中央銀行デジタル通貨）に関する関係府省庁・日本銀行連絡会議幹事会（第6回）
議事要旨

1. 日 時：令和7年3月17日（月）10：00～11：40

2. 場 所：財務省本庁舎4階第3特別会議室

3. 出席者：

【座 長】

津田 夏樹 財務省 理財局国庫課長

【構成員】

田中 智也 内閣府 政策統括官（経済財政政策担当）付参事官（経済対策・金融担当）付参事官補佐（※）

福田 誠 公正取引委員会 事務総局経済取引局調整課長

服部 準 警察庁 刑事局組織犯罪対策部組織犯罪対策第一課長

三浦 知宏 金融庁 企画市場局総務課信用制度参事官

鮎澤 良史 消費者庁 消費者政策課長

高田 迪 デジタル庁 戦略・組織グループ参事官補佐（※）

中川 航輔 総務省 大臣官房企画課課長補佐（※）

芥 唯一郎 総務省 情報流通行政局郵政行政部企画課貯金保険室長

竹下 慶 法務省 民事局参事官（※）

猪股 正貴 法務省 刑事局参事官（※）

鶴野 浩之 財務省 国際局国際機構課企画官

福井 尚 厚生労働省 雇用環境・均等局勤労者生活課労働金庫業務室長

福田 洋介 農林水産省 経営局金融調整課経営専門官（※）

平林 孝之 経済産業省 商務・サービスグループキャッシュレス推進室室長

清水 茂 日本銀行 決済機構局参事役

【オブザーバー】

芦田 光暁 個人情報保護委員会 事務局企画官

（※）は代理出席

4. 議 事：

各種の民間決済手段との役割分担

（1）C B D Cの利用形式について

（2）C B D Cに関する市場の競争について

5. 議事要旨：

- 開会に際し、座長より挨拶が行われた。
- 議事（１）「C B D Cの利用形式について」において、資料１に沿って事務局より説明を行った。
- 議事（２）「C B D Cに関する市場の競争について」において、資料２に沿って公正取引委員会事務総局より説明を行い、その後質疑応答を行った。
- 第６回幹事会での議論を踏まえ、座長より、以下のとおり議論のまとめを行った。
 - ・ 議事（１）「C B D Cの利用形式について」の議論では、C B D Cが既存の民間事業者が社会に広く提供しているキャッシュレス決済の利便性や機能をさらに向上させるための手段となりうることを見据え、主に現金が利用される場面で補完的な決済手段を提供する利用形式A、利用者が望む送金や支払先についての相互運用性を実現する利用形式Bとそれぞれのユースケースを考察し、C B D Cの活用により想定されるメリットや留意点が確認された。
 - ・ 議事（２）「C B D Cに関する市場の競争について」の議論では、
 - ① C B D Cの利用が想定される少額決済市場において、多様な電子少額決済サービスの間で、公正かつ自由な競争が行われることが重要であり、C B D Cは消費者・店舗・事業者の選択肢となることでその促進に資する可能性があること、
 - ② その場合の競争状況はC B D Cを利用する消費者・店舗・事業者の選択により形成されることが確認された。
 - ・ 今後に関しては、
 - （１）引き続き、利用のされ方やユースケースの整理を進め、利用者が望む利便性や有用性を備えたC B D Cを実現するために必要な検討を行っていくこと、
 - （２）既に決済手段を提供している、あるいはC B D Cが導入された場合に仲介機関となりうる民間事業者にとって、参加・接続がしやすい環境を確保し、C B D Cが公正で開かれた決済市場環境に資するものとなるようにしていくこと、
 - （３）また、社会全体での利便性・効率性に資する観点から、将来の技術革新や新たなユースケースにも対応可能な公的な決済インフラとしての活用可能性も見据えて議論を行っていくことが確認された。